
世界のシンリは俺が作る!!

篠原 ナギサ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界のシンリは俺が作る！！

【Nコード】

N5930Z

【作者名】

篠原 ナギサ

【あらすじ】

俺、桐ヶ谷シズルは異能を持っている。その力とは、世界を意のままにすこ〜しだけ、操ること。

なのだが、異能持ちの為に幽霊や魔物を倒す「管轄者」という裏の「仕事」に巻き込まれ、厨二めいた単語と知識を持つようになるが、日常があるラノベの影響で楽しんでいる。

これは愉快的先輩と同級生の間で日常を楽しむ男の子と、シズルに宿るもう一つの意識…ルナとの、日常ギャグ物語。

ブログ：12月19日

幽霊が居るか居ないかなんてどーでも良い話だが、俺はいつまで幽霊を信じ、

尚且つ夜トイレに行く時ビクビクしながら扉を開いていたのか何て覚えちゃいない。

思えば頭の中では理解していた。

幼稚園の頃の肝試し大会の時、あれは先生が白いローブを着て卑劣にも園児を脅かしていたと。
オカルト番組のビデオにはロクな物しか無いことを。

……とまあ、こんな具合に変な事を考えさせられる今日この頃。

季節は冬。深々と降り積む雪と刺すような北海道の冬の寒さの中、俺は学校へと足を動かす。

街は今、クリスマスソングでヒジョーに五月蠅い。

が、ちよつとそんな所からは離れているので気にしなくていい。

ふう……早く来すぎたかな？うちの担任メンドクセエからな……。

眼前に広がるのは巨大なジャングル――の筈もなく、俺の通う乃木^{のぎ}坂^{ざか}中である。

全校生徒約80人。ドーナツ化現象の象徴だ。

もう冬だから、ではないが、別に俺は進入生とかではない。立派な現中1の8ヶ月目だ。

それにしても、「鋭い寒さ」とかなんとか形容しているが、実際あれは間違いだ。

上半身は全くと言って良いほど寒くない。問題は制服のズボンだ。冬の冷気で冷え切ったズボンは、俺のいたいけな生足に攻撃してくるのだ。

そこからどんどん体は冷えていき、現在はかなり我慢している。

そんなこんなで7時40分。もうすぐ学校。

登校時間は8時25分までだから――大分早い、と言っても担任は8時10分までに来いと仰ってられる。

でも、まあかなり早い。

中学生なので時間をつぶすアテもなく、第一そんな勇氣は持ち合わせていないし。

仕方がないので、乃木坂中――通称「乃木中」――の玄関にでも行こう。

と言っても、玄関が目的ではない。言わずもがな、1年1組の教室である。

靴をロッカーから出し尚且つ放り投げて靴裏に付いた雪を落としつつ上靴を履く。

まだ雪の付いた靴をロッカーに入れながら、玄関先の廊下に目をやった。

ガラスの奥には大量のトロフィー達。今はもうそんな誇れるモノはウチの学校には無いが。

半ば陰鬱な気分で玄関の先の扉を開きつつ、

俺は先輩クラスメイト達との騒がしい今日一日を想像していた――。

ブログ：12月19日（後書き）

感想、評価、web拍手等、お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5930z/>

世界のシンリは俺が作る!!

2011年12月19日21時47分発行